

持続可能な“えひめ発” 日本型養殖モデルの創出

～養殖生産地の危機克服から成長産業への脱皮のために～

地域イノベーションクラスタープログラム(都市エリア型)

愛媛県南予エリア

●平成21～23年度

平成22年4月

財団法人 えひめ産業振興財団

持続可能な“えひめ発”日本型養殖モデルの創出



生産(養殖) → 加工 → 流通 → 販売までのトータルな課題解決を目指した

研究成果

知的財産権
ドキュメント類

基礎研究 → 応用研究(共同研究) → 実用化研究(共同研究)

技術移転
ビジネスプラン
地域ブランド化

新流通モデル
マーケット情報
各種支援施策
インキュベーション施設

総合型
養殖システム

研究開発事業

新たに発生した検討課題

可能性試験(公募)

養殖技術の高度化や水産物の高付加価値化を進めるために実施します。

地域ニーズの高い研究課題

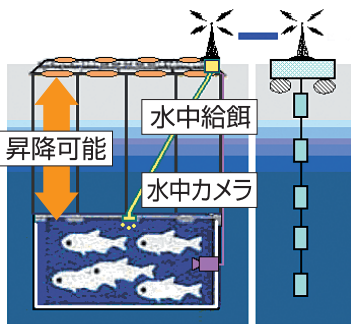
研究交流事業

テーマ1 高度管理型魚類養殖技術

(研究代表者:小泉喜嗣 県水産研究センター主任研究員)

- 《21年度実績》
- 「水深可変型養殖生産システム」の開発を開始
 - 消費者への情報提供機能や養殖業者への生産計画機能を備えた「生産流通情報管理システム」の構築を開始
- 《22年度予定》
- 生簀の上昇時の減圧による斃死防止
 - 効率的な中層給餌手法の確立
 - 「生産流通情報管理システム」による実証実験

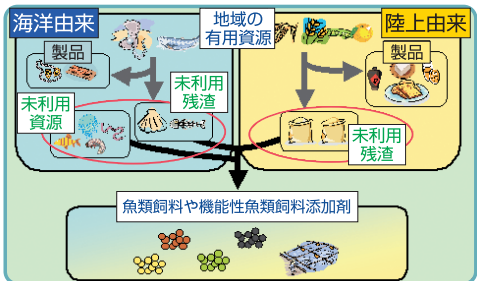
〈水深可変型生け簀〉



テーマ2 未利用バイオマス飼料化技術

(研究代表者:菅原卓也 愛媛大学 准教授)

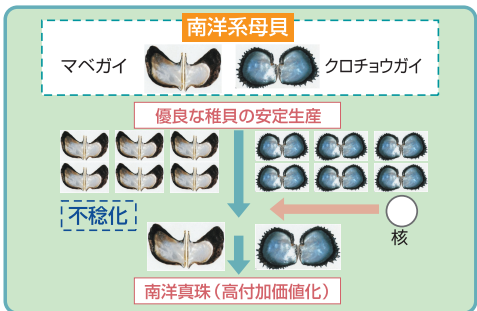
- 《21年度実績》
- 食品加工業から排出される動植物性加工残渣等を活用した魚類飼料原料、機能性飼料添加剤の開発を開始
- 《22年度予定》
- ハマチの内臓・焼酎粕を魚粉代替とした魚類飼料の試作、実証試験の実施
 - クラゲコラーゲンを用いた免疫増強添加剤の試作



テーマ3 温暖化対応型真珠養殖技術

(研究代表者:三浦猛 愛媛大学 教授)

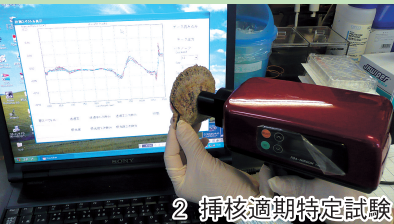
- 《21年度実績》
- 南洋真珠貝(クロチョウガイ、マベガイ)の養殖を開始
 - 異種間移植による真珠作成技術及び系統保存技術の開発
- 《22年度予定》
- 種苗生産、RNA干渉による不稔化母貝の開発
 - 系統保存技術に関する基礎条件の検討
 - マベ真円真珠作成の試み



- 22年度実施
- 1 愛南町海域での真珠母貝養殖筏を利用したヒジキ養殖技術の確立
 - 2 新規開発飼料による非食用カタクチイワシ養殖システムの開発
 - 3 ハマチ内臓残渣廃棄物に含まれる成分の機能性探索
 - 4 アカガイ養殖技術開発
 - 5 DNA系統解析による愛媛ブランドアコヤガイの作出技術開発
 - 6 真珠アコヤガイ貝殻のリサイクルプロセスと機能材料化
 - 7 低価値魚介類を利用した魚醤油の製造開発

- 21年度実績
- 1 イシガキダイの魚病・赤潮対策技術開発
 - 2 携帯型近赤外線分析装置を用いた挿核適期特定試験
 - 3 持続可能な真珠養殖のためのアコヤ貝構成物の材料工学的評価
 - 4 愛南町海域での真珠筏を利用したヒジキ養殖技術の確立
 - 5 高成長及び免疫賦活が期待できる養殖用飼料原料の開発
 - 6 水産物を利用した魚介類調味料開発に関する可能性試験

〈成果例〉



研究報告会

研究成果を地域内外の関係者に向けて発表します。

《21年度実績》

- 宇和島市で開催し、161名が参加

《22年度予定》

- 前年度同様に実施予定



人材育成セミナー

本事業と関連する第一線で活躍中の研究者や事業者を招へいし、地域セミナーを開催します。

《21年度実績》

- 八幡浜市、宇和島市、愛南町で計4回開催し、計232名が参加

《22年度予定》

- 現場ニーズに応じて実施予定



ニーズ・シーズ マッチング

企業が抱える課題と愛媛大学等が保有する技術や研究成果をつなぎます。

《21年度実績》

- 年末商談会に参加し、消費者ニーズを把握
- 水産関係者、大学へのヒアリングを実施

《22年度予定》

- 生産者と消費者のマッチングを実施予定



新流通パイロットモデル研究

研究成果を速やかに事業化するため、新しい流通ルートの開拓を研究します。

《21年度実績》

- 現状の流通経路、価格形成を把握し、問題点及び課題の明確化
- 国内水産物の成功事例を分析

《22年度予定》

- 南予エリアの現状・問題点をさらに掘り下げるため、流通サイドへの市場調査等を実施予定



～共に協力し活動して頂く意義～

産

「水産クラスターづくりを目指して！」

【参画機関】

産の活力

- 産学官連携からチャンスをつかむ
- 高付加価値化による市場拡大
- 技術力・販売力・情報収集力の強化

学

「研究から事業化まで一貫して！」

【研究機関（大学及び公設試）】

学の貢献

- 早期事業化ヘリリーダーシップ発揮
- 研究室は企業コラボの起点
- 現場に密着した応用研究

時代に即応してチャレンジ

技術・経営課題の早期解決

日本一の“総合型養殖システム”の確立

～研究から生産・加工・流通・販売までの総合産業化～

ネットワークのスパイラルアップ

官

「地域一体となった取組みを！」

【行政・財団】

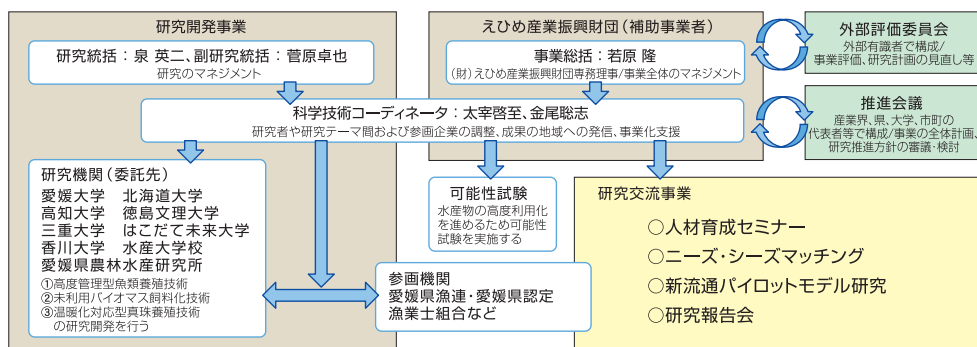
行政の支援

- 輸出に向けたグループづくり
- 直販への取り組み支援
- 地産地消から魚食文化づくりまで

財団の支援

- 地域に密着したコーディネート活動
- 人と人、ニーズと技術のマッチング
- 参画機関・研究機関をチームワークでサポート

事業推進体制



中核機関



財団法人 えひめ産業振興財団

〒791-1101 愛媛県松山市久米窪田町337-1
TEL (089) 960-1100 FAX (089) 960-1105